

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者様のホームでの生活上での自由と楽しさや、その方らしい生活とはどういったものかについて正しく理解し、その生活を保つための取り組みが必要である。利用者様の生い立ち、生活環境、性格や認知症状からくる行動への理解を深め、受け止め方をスタッフが共有し、良いケアへと繋げる為の研修の場が必要である。	・ホーム理念をより深く理解することが出来る。 ・各スタッフが自身の介護に対する考えを深めることが出来る。 ・自身の考え、調べたこと、介護に対する知識等を他スタッフに理解してもらう方法を身に着けることが出来る。 ・スタッフ皆で介護に対する理解を深めチームワークを強めることが出来る。	・毎月の職員会議の場で、研修発表を行う。必ず一人1回は発表する。 ・発表を行う為、各自、下記の項目いずれかについて調べまとめる。発表の手法を決め、準備する。その項目について、各利用者様の取り組み等について事例発表を加える。 (研修項目) ・ホーム理念の自由、楽しさや、ありのままに支え合うケアをどう解釈するかについて。 ・身体拘束について ・高齢者虐待について ・身体介護について ・認知症への理解 ・ご家族との信頼関係の作り方 ・看取りについて ・プライバシー保護について ・家事援助について	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。